

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020/6/26	使用開始日	
登録診療科	婦人科	申請医師	増原 完治
レジメン名	tri-weekly TC+アバスチン(アブレピタントカプセル)(卵巣がん・子宮頸がん)		
疾患名	卵巣がん・子宮頸がん		
適応分類	進行・再発・術後補助化学療法	適応の備考	
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース 催吐性リスク 高度
抗がん剤投与量・投与日	パクリタキセル175mg/m ² day1、カルボプラチン5AUC/body day1、アバスチン15mg/kg day1		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	主ルート 点滴静注	生食50mL	1 本 / body		●																					
		デキサート注6.6mg	2 本 / body	15 分	●																					
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																					
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●																					
		ボラミン注5mg	1 本 / body		●																					
2	主ルート 点滴静注	ハロ/セトロン注ハッグ0.75mg	1 本 / body	30 分	●																					
3	主ルート 点滴静注	生食500mL	1 本 / body		●																					
		パクリタキセル注	175 mg / m ²	3 時間	●																					
4	主ルート 点滴静注	生食250mL	1 本 / body		●																					
		カルボプラチン注	5 AUC / body	60 分	●																					
5	主ルート 点滴静注	生食100mL	1 本 / body		●																					
		アバスチン注	15 mg / kg	90 分	●																					
		アバスチン投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。																								
6	主ルート 点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					
	経口投与	アブレピタントカプセル	125 mg / body		●																					
		抗がん剤の投与1時間～1時間30分前に服用																								
	経口投与	アブレピタントカプセル	80 mg / body			●	●																			
		分1午前中に服用																								
	経口投与	デカドロン錠 分2 朝昼食後	8 mg / body			●	●	●																		

【投与上の注意】

アブレピタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アブレピタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アブレピタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。

アバスチン:希釈は生食のみ。

アバスチン:投与速度は1回目90分、2回目60分、3回目以降30分。

パクリタキセル:前投薬としてデキサート注、ファモチジン20mg、ボラミン注5mg静注が必要。

パクリタキセル:DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。

パクリタキセル:アルコール不耐症がないことを確認する。